

「大阪市下水道事業経営戦略」

令和 6 年度の自己評価

(主要施策の取組状況)

○大阪市の下水道が抱える課題

課題① 急増する老朽施設	課題② 大雨による浸水への対応	課題③ 地震・津波等への対応	課題④ 都市環境への対応
-----------------	--------------------	-------------------	-----------------

○課題に対応する4つの施策

機能維持 施設を良好に維持し、機能を適正に確保します。	地震対策 地震や津波等の自然災害による被害を抑制します。
浸水対策 浸水のないまちを目指します。	都市環境保全 清らかな水環境の保全に寄与し、都市の環境や魅力を守ります。

※詳細は、「大阪市下水道事業経営戦略 令和7年3月改定」をご参照ください。

○各施策の主な事業の進捗状況に対する評価（自己評価）

- （評価基準）
- A：令和6年度の目標を達成。
 - B：令和6年度の目標が未達成であるが、工程見直し等により目標年度への影響はない。
 - C：令和6年度の目標が未達成であり、目標年度の見直しが必要。

機能維持

【基本方針】

- 計画的な点検や調査の実施により施設の状態を把握し、効率的な施設の管理を実施することで、施設全体の健全性を維持します。

主な事業の進捗状況	指標		R5年度	R6年度	累計値（R3以降）	全体目標	評価
管きょ改築	改築延長	計画	52km	53km	209km	539km (R12)	B
		実績	38km	39km	169km		
機械・電気設備改築	改築装置数	計画	89装置	122装置	431装置	1,380装置 (R12)	B
		実績	89装置	114装置	423装置		
土木施設改築 (送泥管改築)	送泥管 路線数	計画	1路線	1路線	3路線	4路線 (R12)	B
		実績	1路線	0路線	2路線		
建築施設改築	改築棟数	計画	6棟	6棟	21棟	23棟 (R7)	A
		実績	5棟	6棟	19棟		
東野田抽水所改築更新事業	事業費	計画	2.9%	5.5%	11.1%	100% (R12)	A※
		実績	2.9%	4.2%	9.8%		
汚泥処理施設整備運営事業	事業費	計画	0.1%	2.7%	3.0%	100% (R13)	A
		実績	0.1%	2.8%	3.1%		

※事業費（当該年度の執行額）の変更により実績値が計画値を下回っているが、事業に遅れは生じておらず、計画通りの進捗であるためA評価とする。

< B評価の事業 >

- 管きょ改築は、工事図面の簡素化や変更手続きの見直しなど、発注・施工の効率化を令和6年度に試行実施し、概ね計画通り約53km発注できた。令和7年度からは本格実施に移行しており、さらなる発注のスピードアップと現場施工期間の確保による出来高の進捗向上を図っていくため、目標年度の見直しは行わない。
- 機械・電気設備改築は、遅れの原因である入札不調への対策として早期発注や発注規模の見直しなどを行った結果、入札不調件数が改善した。また、令和6年度からは一部改築工事の設計施工監理までを一括して日本下水道事業団へ委託し、進捗向上を図っていることから、目標年度の見直しは行わない。
- 土木改築は、令和6年度完成を予定していた津守～千島送泥管について、現場施工上の不測の事態により遅れが生じているものの、R7年度に完了見込みである。また、他施設についても計画どおり発注準備を進めていることを踏まえ、目標年度の見直しは行わない。

浸水対策

【基本方針】

- ・ 計画降雨（1時間に66mmの降雨）に対して、浸水被害を解消します。
- ・ 集中豪雨に対して、浸水被害の軽減を図ります。
- ・ 集中豪雨や河川氾濫などに対して、下水道機能を維持するため、下水道施設の耐水化を進めます。
- ・ 多様な主体との連携強化やソフト対策により、雨に強いまちづくりを推進します。

主な事業の進捗状況	指標		R5年度	R6年度	累計値（R3以降）	全体目標	評価
此花下水処理場内 ポンプ場	事業費	計画	18.0%	1.0%	100%	100% (R6)	A
		実績	5.6%	1.4%	100%※1		
淀の大放水路 (大隅～十八条幹線)	事業費	計画	8.1%	0.0%	100%	100% (R5)	A
		実績	8.9%	10.2%	100%※2		
豊崎茶屋町幹線	事業費	計画	1.6%	29.8%	32.5%	100% (R8)	B
		実績	0.9%	18.9%	21.1%		
集中豪雨 被害軽減対策	地区数	計画	19地区	19地区	61地区	79地区 (R7)	A
		実績	12地区	34地区	55地区		
施設の耐水化 (揚水機能の確保)	施設数	計画		12施設	12施設	64施設 (R8)	B
		実績		6施設	6施設		

※1 此花下水処理場内ポンプ場はR5末に通水。場内整備については、地中障害物の撤去作業の追加に伴い遅れが生じており、R7に完了予定。
※2 大隅～十八条幹線については、R6.6月に供用開始。関連工事については、継続して実施中。

<B評価の事業>

- 豊崎茶屋町幹線は、地元との調整や軟弱地盤対策により進捗に遅れが生じているが、工事全体の工程精査により事業期間内の完了が見込まれることから、目標年度の見直しは行わない。
- 施設の耐水化は、技術者不足に伴う入札不調により遅れが生じているが、工程調整の上、発注計画を見直し、令和7年度に再発注し、令和8年度までの完了を見込んでいる。また、他施設についても計画どおり工事発注を進めていることを踏まえ、目標年度の見直しは行わない。

地震対策

【基本方針】

- ・ 南海トラフ巨大地震による津波被害等を抑制します。
- ・ 地震動による施設の被害を抑制し、施設機能を維持します。
- ・ 災害が発生した場合に、市民生活を維持するために下水道施設を活用します。

主な事業の進捗状況	指標		R5年度	R6年度	累計値（R3以降）	全体目標	評価
津波逆流防止対策	施設数	計画	1施設	1施設	2施設	6施設 (R8)	A
		実績	1施設	1施設	2施設		
排水施設の耐震化	施設数	計画	2施設	5施設	8施設	33施設 (R12)	B
		実績	0施設	2施設	2施設		
緊急交通路の管きょ耐震化	改築延長	計画	2.0km	1.5km	6.0km	17.4km (R10)	A
		実績	4.4km	2.5km	9.7km		
マンホールトイレの整備	箇所数	計画	0箇所	0箇所	4箇所	5箇所 (R8)	A
		実績	3箇所	0箇所	4箇所		
処理水供給設備の整備	個所数	計画	1箇所	0箇所	1箇所	3か所 (R9)	A
		実績	0箇所	0箇所	0箇所		

< B評価の事業 >

- 排水施設の耐震化は、業務委託の入札不調により工事契約に遅れが生じたものの、既に工事着手しており、全体計画期間内に完了予定である。今後工事発注を予定している施設については設計業務の前倒し発注を進めるなど、進捗管理に努めていることから、目標年度の見直しは行わない。

都市環境保全

【基本方針】

- 公共用水域の水環境を保全し、快適な市民生活を保ちます。
- 2050年カーボンニュートラルの達成に向け、温室効果ガスの削減等に努めます。
- 下水道の有する資源を活用し、都市の魅力向上に貢献します。
- 下水道施設周辺の生活環境を良好に保ちます。

主な事業の進捗状況	指標		R5年度	R6年度	累計値（R3以降）	全体目標	評価
合流式下水道の改善	合流式下水道改善率※	計画	88.8%	95.1%	95.1%	100%（R10）	B
		実績	88.8%	90.1%	90.1%		
夢洲の下水道整備	事業費	計画	25%	25%	100%	100%（R6）	A
		実績	39%	43%	100%		
修景施設の整備	施設数	計画	0施設	1施設	2施設	4施設（R12）	B
		実績	0施設	0施設	1施設		
臭気対策	施設数	計画	1施設	0施設	1施設	7施設（R12）	A
		実績	0施設	0施設	0施設		

※分流式下水道並みに向けた達成率を表す。下水道法施行令に定められた雨天時放流水質基準については令和5年度に達成。

<B評価の事業>

- 合流式下水道の改善は、令和6年度完成を予定していた津守処理区などの対象工事において入札不調等により遅れが生じているものの、令和7年度中に完成見込みであることを踏まえ、目標年度の見直しは行わない。
- 修景施設の整備は、令和6年度完成を予定していた東横堀川送水事業について、現場施工上の不測の事態により遅れが生じているものの令和7年度末に完成を予定。また、他施設についても計画どおり発注を進めていることを踏まえ、目標年度の見直しは行わない。

○評価のまとめ

評価	A	B	C	計
機能維持	3	3	0	6
浸水対策	3	2	0	5
地震対策	4	1	0	5
都市環境保全	2	2	0	4
計	12	8	0	20

○自己評価

各施策に係る20の主な事業のうち、A評価は12件、B評価は8件となり進捗に遅れが生じている事業があるものの、全体目標までには達成できる見通しである。

引き続き各事業の内容に応じた取組を行い、より一層の事業進捗向上に努めていく。